

可能性表現と時間的限定性・テンポラリティー・評価性 —「恐れがある」「危険がある」「懸念がある」—

宮 崎 和 人

1. はじめに

従来の主流派の日本語文法研究では、まず、文の意味的な内容を、客観的なことから内容である命題と主観性や話し手の心的態度であるモダリティーに分割することから文法の記述がはじまる。そして、アスペクトやテンスは命題の要素とされる。しかし、アスペクトは限界づけるか限界づけないかという運動の^{とらえかた}の違いの表しわけであり、テンスは発話行為の「いま」を基準とする自己指向的な運動の時間的位置づけであって、客観的なことから内容にはおさまらない(注1)。また、文の意味のある側面として主観性や話し手の心的態度が存在するのは間違いないとしても、そうしたものは意味的なものであって、文法的なカテゴリーではないのではないかという疑問がある。実際のところ、日本語のモダリティーの研究者が対象としているのは、主観性や話し手の心的態度のすべてではなく、命題態度と伝達態度のみである。さまざまな話し手の態度のなかからこの二つだけを取り上げてモダリティーと呼ぶ根拠はどこにあるのだろうか。

筆者は、モダリティーを「話し手による文の対象的内容と現実との関係づけ」と規定する立場をとっている。この規定は認識的モダリティーのみを対象としているようにみえるかもしれないが、そうではない。たとえば、なぜ命令がモダリティーかという点、これは単なる聞き手に対するはたらきかけではなく、未実現の動作を実現させようとする意志表示であるからである。そして、アスペクトやテンスもまた時間的な側面から文の対象的内容と現実とを関係づけているとすれば、モダリティーとアスペクト・テンスの相関は必然的である。

筆者は、こうした考え方にもとづいて、「可能」をモダリティーとして研究している(その全体的な構図は宮崎(2020)に示した)。可能がモダリティーである以上、当然のことながら、アスペクトやテンスがからんでくるはずである。逆に、アスペクトやテンスとの相関を明らかにすることで、可能をモダリティーとすることの妥当性も明らかになってくるだろう。ヴォイスはアスペクトと相関するが、テンスとは相関しない。しかし、可能はテンスと相関するのである。

筆者がこれまでに扱ってきた可能表現の形式は、可能性をあらわす「することもありうる」(宮崎2014、2016、2018)と「疑いがある」(宮崎2019)である。本稿では、さらに、「恐れがある」「危険がある」「懸念がある」を取り上げる(動詞の連体形を受けるもののみを対

象とする)。

なお、本稿で考察に用いる用例は、朝日新聞記事データベースを利用して、以下のような条件指定によって検索して収集した。対象を終止形に限定するために、句点をつけて検索した。

検索モード：詳細検索

対象紙誌名：朝日新聞

キーワード

例：恐れがある。#の恐れがある。(名詞のノ格の例を排除)

た恐れがある。+だ恐れがある。(動詞が過去形の例を検索)

ている恐れがある。+でいる恐れがある。(動詞が継続相非過去形の例を検索)

発行日：全期間(収集は2020年12月31日まで)

検索オプション

検索対象：本文

分類：指定なし

朝夕刊：朝刊

面名：一面(全体的な傾向をみるときは指定しない)

本紙／地域面：本紙

発行社：東京

2. 考察の観点

可能表現には、可能動詞や「することができる」などの狭義の可能表現と「することもありうる」「可能性がある」などの広義の可能表現、すなわち可能性の表現がある。多くの言語で両者は同じ形式によって表現されるが、日本語では、「しうる」「しかねる」(注2)を例外として、一般的に両者は形式によって区別される。こうしたこともあって、日本語の可能の研究では、狭義の可能表現のみを取り上げ、可能性の表現は可能表現とはみなされないことが多い(それらは認識的モダリティーの類義表現のような扱いを受けている)。

しかし、両者は形式的に区別されるとしても、意味的につながりがあることは明らかであり、両者を同一の地平から記述することが日本語においても求められるだろう。たとえば、可能には能力可能と条件可能があるとされる。これは可能を条件づける要因といった観点からの可能文の分類である。可能性をあらわす文にもこの種の要因が存在している。たとえば、「することもありうる」は、論理にもとづく可能性をあらわす(宮崎2016)。後述するように、本稿で対象とする「恐れがある」等には、条件可能にあたるものが非常に多い。

さらに重要なのが時間的限定性の観点である。この観点の重要性はこれまでの可能の研究ではほとんど気づかれていない。これは可能をアクチュアルなもの(時間の限定のある可

能)とポテンシャルなもの(時間の限定のない可能)に分ける考え方であり、筆者はこれを、奥田(1986)や『ことばの科学』第7集の発行にあたって(奥田による)に紹介されたイエ・イ・ベリャエヴァの見解から学んだ。能力可能はおおむねポテンシャルであるが、条件可能には両者がある。同じ条件可能でも、「今日は天気があるので、ここから富士山をみることができる」はアクチュアルであるが、「天気がいい日なら、ここから富士山をみるができる」はポテンシャルである。可能にはアクチュアルなものがあるということ、すなわち、時間的に限定された可能があるということは、我々の日常生活をみればすぐに理解できるはずである。たとえば、友人に会うこと。これはいつでもできることではない。自分と相手の都合やそのほかのさまざまな条件によって、会える時間は限られている。人間のたいいていの行動は時間の縛りを受けている。であれば、いつ可能なのか、いつ不可能なのか、ということをお互にわける必要がある。これがアクチュアルな可能である。

可能性表現も、可能表現と同様に、アクチュアルな可能とポテンシャルな可能を区別できる(宮崎2014)。「することもありうる」は論理可能の表現であることから、「試合では、強いほうが負けることもありうる」のようにポテンシャルな可能をあらわすことができる。しかし、「試合では、強いほうが負ける可能性がある」とはいえないことからわかるように、「可能性がある」は、「することもありうる」ほど、ポテンシャルリティーが高くない(宮崎2018)。

アクチュアルな可能とポテンシャルな可能の区別はテンス対立の有無に直結する。テンス対立は時間の限定のあるアクチュアルな可能にのみ成立する。そして、このことが可能性を認識的モダリティーから区別する決定的な根拠になる(注3)。推量や推定といった主体的な言語行為は発話時現在のものであるから、会話に使用される「だろう」や「かもしれない」「にちがいない」「らしい」といった認識的モダリティーの形式には過去形がない。「かもしれないなかった」「にちがいなかった」「らしかった」という過去形は、小説の地の文などにはみられるが、推量や推定といった主体的な言語行為が過去に行われたという意味ではない。作中人物と語り手の視点を交錯させる描出話法という一種のレトリックである(工藤1995)。

可能性と認識的モダリティーの違いは動詞のテンスにもあらわれる。「だろう」や「らしい」をとまなう推量・推定の文では、断定の文と同様、運動をあらわす動詞は、基本的アスペクト・テンス体系(完成相と継続相の対立、過去と非過去の対立)にしたがって、「するだろう」「しただろう」「しているだろう」「していただろう」と形を変える。一方、可能性をあらわす文では、運動動詞であっても、こうした基本的アスペクト・テンス体系は成立しない。たとえば、「することもありうる」では、動詞の形は「する」に固定されている(注4)。また、「可能性がある」では、動詞の形は「する」「した」「している」「していた」のいずれも可能であるが、これらは絶対的テンスではない。たとえば、「する可能性があった」の「する」は可能性が存在した過去の時点からみてそれ以後を、「した可能性があった」の「した」は可能性が存在した過去の時点からみてそれ以前をあらわしている。「疑いがある」については、動詞のテンスは過去が現在に限られる。「する」の例もないわけではないが、未来をあらわすものは一例もない(宮崎2019)。

みとめかたに関しても、認識的モダリティーには否定形式がないが、可能性にはある。ただし、「することもありうる」のように否定形式が頻用されるものもあれば、「疑いがある」のように否定形式がないものもある(宮崎2019)。

可能性表現について考察する観点としては、評価性も重要である。「疑いがある」は、悪事(犯罪、違法行為、当事者や社会にとってダメージとなる事故や災難など)に使用される(宮崎2019)。本稿で取り上げる「恐れがある」「危険がある」「懸念がある」もまた否定的評価を含んでいる(そのほかに「かねない」もある)。「する可能性がある」のように評価性に関して中立的なものもあるが、否定的な評価性は、日本語の可能性表現の一つの特徴であるといってよいだろう。これも認識的モダリティーにはない特徴である。これらが否定的評価を含むのは、「疑い」「恐れ」「危険」「懸念」といった名詞にすでにそれが含まれているからではあるが、そうした語彙を素材とする可能性表現が多数あることは注目に値する。

以上、可能性表現について考察する際の観点として、時間的限定性・テンポラリティー・みとめかた・評価性を取り上げた。以下、これらの観点にもとづいて、対象とする三つの表現 — 「恐れがある」「危険がある」「懸念がある」 — について考察をおこなっていく。

本稿で取り上げる三つの表現のうち、より文法化が進んでいるとみられるのは、「恐れがある」である。使用頻度ももっとも高い。「危険がある」や「懸念がある」は多くの場合、「恐れがある」に置き換えることができるが、逆の置き換えはなりたたないことが多い。「恐れがある」がより一般的な表現なのであろう。こうした理由から、まず「恐れがある」を取り上げ、そのあとで「危険がある」「懸念がある」を取り上げることにする。

3. 「恐れがある」

3.1 条件可能

可能はそれを条件づける要因によって、能力可能と条件可能に分類されることが知られている。この点に関して、「恐れがある」は、条件可能にあたるものが非常に多い。条件づけ的なつきそい文をとまうことがきわめて多いのである。条件づけ的なつきそい文には、条件的なつきそい文と原因的なつきそい文がある。前者の多くは、「すると」と「すれば」を述語にするものである。

「すると」を述語にするつきそい文をとまう例

- ・ しかしいつまでもお札を変えないでいると、偽札が大量に出回る恐れがある。新紙幣発行の最大の目的は、高い水準の印刷技術を駆使して偽造を抑えることだった▼(1984/11/1)
- ・ 「足輪の付いた姿はかわいそう」など、写真愛好家の間では調査に反対する声もある。長年、調査に参加している東京農大講師の肴倉孝明氏(動物学)は「山に道路を一本通すにも、生息領域などの生態が分からないと、ライチョウに悪影響を与える恐れがある。調べる必要があることを理解してほしい」と話している。(1995/10/9)
- ・ 産業廃棄物の処理施設の新設が難しい状態が続くと、処理施設が不足して不法投棄が多発する恐れが

ある。そのため、厚生省は、安全性が高く、住民の信頼を得られる施設設置を促す必要があると判断した。(1999/9/19)

- ・時価会計が導入されたため、銀行は株や債券など有価証券の取得価格より時価が下がったときに生じる「含み損」の6割相当を「剰余金」(自己資本の一部)から差し引かれる。このため、株安が進むと、配当や不良債権処理の原資である剰余金が枯渇する銀行が出る恐れがある。(2001/8/24)
- ・長雨や日照不足は、野菜の市場価格にも影響し始めている。8月もこの気候が続くと、主食のコメの生産にも波及する恐れがある。(2009/8/4)
- ・母乳から感染することはないが、直接授乳すると、母親との接触で乳児にうつる恐れがある。このため、母乳を搾り、第三者が与えるよう推奨している。(2009/9/22)
- ・浄化装置が順調に稼働しないと、循環冷却の実現が危うくなるばかりか、タービン建屋などにたまった放射能汚染水が約11万トンあり、あふれ出す恐れがある。大雨などが降れば、予想より早く満杯になる可能性もある。(2011/6/18)
- ・風疹の患者が関東を中心に増えている。国立感染症研究所は21日、注意を呼びかける緊急情報を出した。今年の患者数は12日現在で139人で、昨年の年間患者数93人を大幅に上回る。風疹は妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんに障害がでる恐れがある。感染研は妊婦の家族や予防接種率の低い30～50歳代男性などに任意の予防接種を呼びかけている。(2018/8/22)
- ・8日は企業や学校が休みの週末のため需要が少なく乗り切れたが、週明け以降、企業の活動が回復していくと、ぎりぎりになる可能性がある。フル稼働させている老朽化した火力発電所にトラブルが起きると、再び大停電に陥る恐れがある。(2018/9/9)
- ・農研機構の石郷岡康史・上級研究員は「温暖化が進むと、東北で良質なコメが取れなくなるなど作物の適地が大きく変わる恐れがある。栽培や収穫の時期をずらしたり、品種の改良を重ねたりする工夫が求められる一方、気温上昇を抑える抜本的な対策が欠かせない」と話す。(2019/9/17)

「すれば」を述語にするつきそい文をとまなう例

- ・事故を起こした4号炉を封じ込めているコンクリートと鉄板製の「石棺」は、劣化が進行していた。継ぎ目には人が入れるほどのすき間もあり、内部に雨水がたまっている。崩壊すれば、閉じこめた大量の放射性物質が飛散する恐れがある。(2000/10/3)
- ・この療法により、感染者の死亡率は大幅に低下したが、薬剤耐性HIVが広まれば、治療が困難になる恐れがある。(2003/9/7)
- ・「政治とカネ」の問題に絡み、閣僚候補の「身体検査」に十分な時間をさけない事情もあった。この問題で不祥事が発覚すれば、野党の追及で新内閣は発足早々、立ちゆかなくなる恐れがある。(2007/9/26)
- ・賃貸住宅入居者の連帯保証を請け負っている家賃保証会社が共同で、滞納者らの信用情報の一括管理に乗り出す。情報のデータベース(DB)化を進める社団法人を今月末に設立する。家賃滞納者のブラックリストをつくり、滞納常習者を締め出す。家賃を一度でも滞納してリストに載ってしまえば、その後の住まい探しが困難になる恐れがある。(2009/8/15)
- ・トヨタの世界的な大規模リコールの中には、旧型プリウスも含まれる。アクセルペダルがフロアマットに引っかかり戻らなくなる問題だが、ブレーキでも安全性に疑問符がつけば、トヨタブランドに深刻なダメージを与える恐れがある。(2010/2/3)
- ・福島第一原発の事故で得られた教訓は、事故発生を前提とした対策の重要性だ。そのためには一つの設備だけでなく、複数設置することではじめて安全性が担保される。対策が終わらないうちに再稼働

すれば、安全が十分に確保できない恐れがある。(2012/4/10)

- ・待機児童の対策は、「保育園落ちた日本死ね!!!」と題した匿名のブログをきっかけに、親からの要望が強まっている。自民党と公明党は今週中にも対策案をまとめ、厚生労働省などはこれを踏まえて緊急対策を打ち出す方針だ。ただ、保育職員の人数を増やさずに入所できる子どもの数を増やせば、保育職員の目が行き届かなくなるといった質の低下を招く恐れがある。(2016/3/24)
- ・機構は保険の収支状況に応じて料率を定期的に見直している。再び改定されれば、18年度に被害の大きかった地域を中心に保険料がさらに上がる恐れがある。(2019/5/21)
- ・ただ中国で完成品を作りながら、「Made in JAPAN」と刻印して輸入すれば、税関に抜き打ち検査で止められる恐れがある。(2019/9/2)
- ・感染者が5月半ばごろから少なかったため、死者はこのところ少ない。ただ重症化しやすい高齢者に感染が広がれば死者が再び増える恐れがある。(2020/7/21)

「しても」を述語にするつきそい文をとまう例う例

- ・ありふれた匂いでは警報の役目を果たさない。眠っている人も目覚めるような刺激がほしい。あまり刺激が強すぎても恐怖心を駆り立てる恐れがある。健康への配慮も必要だ。まだびったりの匂いにはたどり着いていない▼(2004/5/25)

こうした例が多いということは、「恐れがある」は、基本的に「ある条件が存在すれば、別のできごとが実現する可能性が生じる」という因果関係のなかにとらえられた可能性をあらわしているといえよう。しかも、実現する可能性のあるできごとは、話し手が「よくないこと」と考えるものである。誰にとってよくないかという、書き手個人ではなく、社会や組織、当事者にとってである。

つきそい接続詞の「場合」をもちいたつきそい文も、おなじはたらきをする。

- ・一方、小泉首相は同日の参院予算委で「道路特定財源を見直すと、必然的に予算の配分構造を変えざるを得ない」と硬直的と批判されてきた予算配分を見直すテコとする考えを改めて強調した。しかし、使途拡大が国土交通省の事業に限られた場合、公共事業の省庁別シェアの見直しにはつながらない恐れがある。(2001/5/23)
- ・消防庁が02年3月現在で行った調査では、耐震基準の強化以前に建造されたタンク1万1129基で、76%を占める8512基が耐震診断や補強がすんでいないことが分かった。これらのタンクは、強い地震があった場合、石油漏れや火災などが起きる恐れがある。今回火災を起こした北海道苫小牧市の出光興産北海道製油所では、45基のタンクが地震で損傷を受けたが、このうち41基は77年以前の建造だった。(2003/10/2)
- ・買い戻しを実施した場合、西武鉄道が、大株主10社などの持ち株比率が80%を超えた状態で1年以上経過すると上場廃止となる、東京証券取引所の基準に抵触する恐れがある。(2004/11/9)
- ・紙の株券が無効になる09年1月の株券電子化を控え、紙のまま家庭内で眠っている「たんす株」は現在、約140億株。相続などで株券を受け取ったまま名義を書き換えていない場合は、株主としての権利を失ってしまう恐れがある。(2007/12/28)
- ・気象庁によると、台風19号は10日午後6時現在、中心気圧915ヘクトパスカル、中心付近の最

大風速55メートル。予報円の中心を通った場合は、12日午後に静岡県付近に、上陸する恐れがある。最大風速45メートルの非常に強い勢力を保ったまま本州に上陸すれば、記録のある1991年以降初めてという。(2019/10/11)

二つの条件的なつきそい文によって、二つの条件の存在が示される例もある。条件と逆条件が共存する場合は、前者が後者より強くはたらくことをあらわす。

- ・業者側には営業の自由があり、法規制がない現状では、条例に罰則など強制力を持たせた場合、市が営業妨害で訴えられれば、敗訴に終わる恐れがある。このため、業者に対する市の立ち入り調査、資料提出要求については市長が「協力」を求めることができ、またプライバシー侵害に対しては是正、中止を「勧告」できると一歩退いた表現にし、強制力を持たせるのを避けた。(1985/6/4)
- ・国内では02～03年にタミフルが足りなくなったことがあり、中外はその後、供給量を増やしてきた。だが、流行の規模が過去の例を大きく上回った場合、輸入だと時間がかかって安定供給できない恐れがある。国内に製造設備があれば、短期間で供給量を増やせる。厚生労働省の強い要望もあり、国内生産に乗り出すことにした。(2006/2/10)
- ・大手銀行による変額年金保険の販売が伸びている。運用成績が良ければ年金額が増えるという期待に加え、顧客が死亡した時にもお金が支払われる保険商品であることが人気の理由だ。ただ、主流の「元本保証型」であっても、中途解約すれば大幅に元本割れする恐れがある。説明不足によるトラブルも絶えず、金融庁は販売手法に問題がないか、銀行への検査で重点的に調べ出した。(2007/2/17)
- ・国交省などによると、穴は直径や幅が約15センチの円形や四角形。各階の角部屋付近の天井に開けられ、そこに墨の付いた糸を垂らして傾きなどを調べる。確認後はモルタルでふさぎ、天井板などで覆われる。穴は居住者からは見えないが、開いたままだと、火災が起きた場合、空気の流れの変化で炎が大きくなる恐れがある。昨年6月、吹田市の府営住宅で1人が死亡した火事では、4階から出火し、穴から炎が伝わって真上の部屋に燃え広がった。(2010/1/29)
- ・ただ、「取材の自由」を明記しても、公務員の罰則が厳しくなれば、取材に萎縮する恐れがある。公明党はほかに、情報公開制度に関する有識者会議の設置▽閣議や閣僚懇談会の議事録作成を義務づける公文書管理法の改正——も求めているが、政権側は応じていない。(2013/10/16)

次のようななかどめ文をとまなう例も比較的多い。二つのできごとの間には、条件づけ・条件づけられの関係をよみとることができる。

- ・政治資金団体の収支報告では、広告は事業収入になる。政治献金とは別の扱いだが、問題はその正体だ。献金の隠れ蓑ではないのか。今の政治改革法案では規制が及ばず、抜け道になる恐れがある。(1993/10/8)
- ・土地の所有権を登記上、移転するには権利証、売り主の実印を押した委任状、固定資産税評価証明書、売り主の印鑑証明書が必要だが、権利証がない場合でも、保証人二人を立てれば登記手続きは可能となり、売り主が別に売却してしまう恐れがある。関電はこうしたトラブルを避けるため、権利証など四つの書類をそろえて、いつでも登記できる態勢を整えていたとみられる。有効期限を考えて、三カ月ごとに新しい印鑑証明書を入手していたらしい。(1999/10/14)
- ・東海地震が起きたとき、静岡県東部にある富士川河口断層帯が連動して地震を起こす場合があるとの

見解を、政府の地震調査研究推進本部(地震本部)が20日、発表した。同断層帯で地震が起きると地表に数メートルの段差ができるとみる。断層帯は東海道新幹線や東名高速の直下で、本州の動脈が分断される恐れがある。(2010/10/21)

- ・だが、毎年数十兆円ずつ借金が増えており、あと数年で限界に達する恐れがある。その時、日本の国債や円、株式が売られる可能性は否定できない。刻々と「日本売り」へのタイムリミットは近づいている。(2011/8/2)
- ・シリアでは反体制派への武力弾圧が続く一方、ダマスカスなどで治安機関を狙った爆破事件が昨年末から相次いでおり、暴力の応酬が泥沼化する恐れがある。(2012/3/18)
- ・最終盤の協議では、加工食品の範囲が焦点だった。「菓子・飲料をのぞく加工食品」の場合、税収減は8200億円で、「加工食品すべて」よりも財政負担は少なくてすむ。だが、あんパンや茶葉などのように菓子・飲料に該当するのか線引きが難しい商品が多く、事業者が混乱する恐れがある。このため線引きのしやすさを優先し、菓子・飲料も含む「加工食品すべて」まで対象を広げた。(2015/12/11)
- ・飲食店はすべて原則禁煙とした当初の「たたき台」から後退している。海外の主要国と比べると規制が緩く、国内外で批判を受ける恐れがある。(2017/2/8)
- ・政府閉鎖により、数十万人の連邦職員が自宅待機になり、2月1日に給与日を迎える130万人の軍人が無給になる恐れがある。空港や国境警備、郵便、国立公園などの業務は通常通り続けられる見通しだ。(2018/1/21)
- ・米トランプ政権は米東部23日午前0時1分(日本時間23日午後1時1分)、知的財産の侵害を理由に、中国からの輸入品160億ドル(約1・8兆円)分への高関税措置を発動した。中国も同じ時刻に同規模の報復措置をとった。米国による今回の高関税措置の対象には、電子部品や化学素材などもあり、世界のサプライチェーン(供給網)に悪影響を与える恐れがある。(2018/8/24)
- ・モーリシャスの座礁事故で、サンゴへの影響が確認された。船底に削られて海水が濁り、ほかのサンゴが窒息する恐れがある。(2020/8/26)

続いて、原因的なつきそい文をもちいて、二つのできごとの因果関係を明示的にあらわしている例をみる。以下、「ため」「ので」「結果」「以上」「ことで」「だけに」をもちいた例をあげる。

- ・年が明けた直後に、携帯電話で新年のあいさつをしたり、電子メールでメッセージを送ったりする利用が集中するため、通信設備の処理能力を超えて障害が出る恐れがある。二〇〇〇年を迎える昨年の大みそかから今年の元日には、通常の三十倍の通話が集中したため、平均八回に一回しかつながらないよう、通話を制限した。この結果、一時、通話がつながりにくくなる障害が起きた。(2000/12/10)
- ・また、もともと降水量が多い東南アジアの河川では、地面に染み込まなくなった雨がそのまま河川に流入しやすくなるため、流量が一気に増える恐れがある。逆に降水量が少ない中近東では乾燥化が進むため、降った雨が地中に染み込んでますます川に流れ込みにくくなることもわかった。(2005/5/13)
- ・ただ、震災後に大量に建てられたため、いずれ供給過剰になる恐れがある。宮城県の石巻市では、震災前に1300戸だった市営住宅が6千戸に、気仙沼市では500戸から2600戸に増える。人口減少が進む地域のため、「10年たつ前にかんりの空きが出そう」(気仙沼市)との見方もある。(2017/3/12)
- ・台風は7日に九州から離れるが、九州北部では同日夕方にかけて一部の住宅が倒壊する恐れがあるほ

どの猛烈な風が吹く見込み。四国や近畿、東海、関東甲信の太平洋側を中心に、台風に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、7日も大雨となる恐れがある。(2020/9/7)

- ・ただ、複写サービスの対象には流通している書籍も含むため、データ送信によって作家や出版社ら権利者に不利益が生じる恐れがある。報告書案では、権利者に補償金を支払うよう図書館を設置する自治体などに義務づけるとしている。(2020/11/7)
- ・ただ、米国が実際に制裁発動に踏み切れば、対象となった日本の産業への影響は大きい。しかも、提訴しても、制裁は即凍結とならないので、米国がパネル勧告を受け入れるまで制裁が続く恐れがある。(1995/5/7)
- ・福島第一原発周辺で手抜き除染が横行している問題で、環境省が昨年12月25日以降、詳細な手抜き情報を得ながらゼネコンを聴取せず、放置していたことがわかった。聴取を始めたのは、朝日新聞の報道を受けて除染適正化推進本部を発足させた今月7日だった。初動が遅れた結果、実態解明が難航する恐れがある。(2013/1/10)
- ・多剤耐性アシネトバクターは、90年代に欧米で拡大、国内の公表例では09年、福岡大病院で26人の院内感染がある。童京大病院のように、海外渡航歴がない患者からの大規模な院内感染が判明した以上、多剤耐性緑膿菌のように蔓延する恐れがある。(2010/9/8)
- ・日本は被爆国として核廃絶を訴え、核軍縮で国際社会をリードしてきた。だが、北朝鮮が核・ミサイル開発をやめず、米トランプ政権が核戦力を増強する考えを表明する中、核禁条約には反対の立場だ。総会決議には法的拘束力はないが、国際社会の意思としての重みがある。今回、賛成が23カ国減ったことで、核軍縮分野で日本の存在感は低下する恐れがある。(2017/10/29)
- ・年金資産を運用する国の独立行政法人と日本銀行が、東証1部企業の8割にあたる約1830社で事実上の大株主となっていることが朝日新聞などの調べでわかった。4年前の調査時から倍増した。巨額の公的マネーは実体経済と乖離した株高を招き、「官製相場」の側面が強まっている。「安定株主」として存在することで企業の経営改善に対する努力を弱める恐れがある。(2020/10/23)
- ・日本はガット総会場で、裁定を全面的または部分的に受け入れるか、全面的に拒否するか、態度を表明しなければならない。拒否をした場合は今年も膨大な貿易黒字を稼ぐことが明かなだけに、国際的に孤立する恐れがある。逆に全面的に受け入れて輸入自由化をした場合は、関係品目を抱えた地域の生産者などの強い反発が予想される。(1987/10/31)

条件的なつきそい文と原因的なつきそい文が共存している例もある。最初に、条件的なつきそい文と原因的なつきそい文としてはたらくななどめ文をくみあわせた例をあげる。このタイプの用例は非常に多い。因果関係が連鎖し、最終結果としてあるできごとが生じる可能性を「恐れがある」であらわしている。

- ・もし噴火すれば、火山灰が首都圏に広く降り、東海道新幹線や東名高速道路のほか、国際路線を含む空路も大きな打撃を受ける恐れがある。地元では「自治体が個々に対応するには限界がある」との声が上がっていた。(2001/6/3)
- ・長銀本体が破たんに近い形になれば、長銀の信用を背景にしていた関連会社も経営危機に陥り、隠れていた不良債権が一気に表面化し、銀行本体が想定していたよりも多額の損失が生じる恐れがある。(1998/9/29)
- ・豚は、鳥のものだけでなく、人のインフルエンザにも感染する。両方のウイルスに感染すれば、遺伝

- 子が交じり合って人に感染する新型ウイルスになり、爆発的な流行につながる恐れがある。(2004/2/7)
- ・ただ、強制加入させても保険料を支払わなければ、国民年金の納付率が下がり、年金制度への信頼感がかえって低下する恐れがある。このため、同庁は未納対策も同時に強化し、強制加入の実効を上げる考えた。(2004/8/24)
 - ・国交省によると、偽装鋼材を使用したエレベーターの強度は最も低い場合で基準の66%程度。建築基準法では3倍の荷重まで耐えるよう設計されているため、通常の運行に問題はない。しかし、震度6強以上の地震でドアのない所で停止した場合、かごを支えているレールがゆがみ、再始動できなくなり、利用者の救出や復旧に支障をきたす恐れがある。同省は、自治体を通じて補強や利用定員の削減を求めた。(2007/7/13)
 - ・日本では、「住まい」は様々な権利の基点とされる。住居がないと住民票が作れず、国民健康保険や年金が得られなかったり、選挙に行けなくなったりする恐れがある。(2009/8/15)
 - ・ギリシャの再建ができないようでは、ポルトガルやスペインなど似た問題を抱える他国に飛び火するのではないか。投資家たちの関心は、そこにある。経済規模がギリシャの約4倍もあるスペインなどの借金返済にも疑問符がつけば、危機の連鎖は加速度的に増し、世界的な金融危機が再燃する恐れがある。(2010/5/8)
 - ・〈炉心溶融〉 原子炉内の水位が下がり、炉心が水中から露出すると、燃料の温度が上昇し、燃料を入れた金属製の器(被覆管)が溶ける。冷却が不十分だと燃料の溶融から、さらに炉心の構造物の破壊と落下が起こる。ここに水があると、水と溶融物が接触し急激な爆発が起こる恐れがある。爆発で格納容器が破壊されれば、大量の放射性物質が環境に放出されることになる。(2011/3/13)
 - ・市街地のアスファルト化が進み、下水道による排水機能が不十分なままだと、大雨でオフィス街や住宅街が浸水する「内水氾濫」が起き、多額の経済的損失が発生する恐れがある。(2017/9/25)
 - ・大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震から25日で1週間。より強い地震が起きた場合、これらの建物は損壊し、大きな被害が出る恐れがある。(2018/6/26)
 - ・土日は好天が予想され、出力調整の難しい太陽光の発電量が伸びるとみられる。一方、休日で工場などの稼働が減るうえ、秋の過ごしやすい気温で冷房などの電力の使用量も落ち込みそうだ。需要と供給のバランスが崩れると、電気の周波数が乱れ、発電所が故障を防ぐために停止し大規模停電につながる恐れがある。(2018/10/12)

次は、条件的なつきそい文と明示的な原因的なつきそい文がくみあわさった例である。これらも、因果関係の連鎖の最後に位置するできごとの可能性をとらえている。

- ・プロログをパソコンで作動させると、CPUの能力をかなり使ってしまうため、推論や計算など肝心のプロログのプログラムが十分に働かない恐れがある。このため新システムでは使用目的を教育分野に限り、ソフトを既製化する。また、家庭内ではプログラムを書き込めないようにパッケージ化して、安くて簡単に使えるようになった。(1986/3/30)
- ・TCASは別の航空機の接近を察知して回避行動を指示する仕組みだ。しかし、今回のように高度計と異なった高度で飛行した場合、高度計のデータをもとに接近状況を判断するため、実際の衝突を回避できない恐れがある。接近してくる他の航空機のTCASも、誤った高度をもとに作動する可能性が高いという。(2005/6/15)

なお、次のような例は、条件的なつきそい文と原因的なつきそい文がならべられたものである。両者は入れ替えることもでき、因果関係の連鎖はない。

- ・これからライセンスを取る在學生は国交省の試験官が審査するが、国内での審査になれば訓練機の同型機が少ないため、ライセンス取得が遅れる恐れがある。(2015/4/2)

次は、原因的な意味が規定語節に込められた例である。

- ・画家が生誕して百年にあたる八一年、『ゲルニカ』は初めて彼の故国に帰ってきた。しかし、民主主義の日が浅いスペインでは、テロその他で傷つけられる恐れがある。そこで、防護のための異例の措置がとられた、と聞いた。ところが先月末、その防弾ガラスが撤去された、という▼(1995/12/13)

さらに、主語が原因としてはたらいっている例もある。

- ・【ジャカルタ16日＝長岡昇】インドネシア政府は十六日、東ティモール問題でのオーストラリアの対応を不満として、軍事交流を中心とする同国との安全保障協定＝キーワード参照＝を破棄すると発表した。インドネシア国内では、東ティモールに派遣される多国籍軍がオーストラリア主導になったことに對して民族主義に根ざした反発が強まっており、安保協定の破棄は国内世論に配慮した面がある。しかし、多国籍軍の東ティモール派遣が迫る中での協定破棄は、現地に駐留するインドネシア国軍と多国籍軍との関係に悪影響を及ぼし、騒乱の収拾を長引かせる恐れがある。(1999/9/17)
- ・段差は、断層帯の上を走る東名高速と新幹線を分断する恐れがある。交通被害の影響を抑えるには、事前に迂回路などの検討が必要だ。(2010/10/21)
- ・小沢氏の離党は党の分裂につながる可能性があり、内閣改造も政権の要である仙谷由人官房長官の交代の引き金を引く恐れがある。それでも首相が踏み込んだのは、自ら主導した連立工作の失敗と、年内決着をめざした小沢氏招致問題の越年が決まったことで首相の指導力が真正面から問われる事態になったためだ。(2010/12/28)
- ・日銀仙台支店の福田一雄支店長は1日の記者会見で「宮城県は被災地域の割合が他の2県に比べて大きい」と指摘した。福島も東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う避難や不安が生産や消費を滞らせ、回復を妨げる恐れがある。(2011/7/2)
- ・ただ、大量購入は将来予算を圧迫する恐れがある。防衛省の想定によると、取得費に維持費などを加えると、147機には総額6・7兆円がかかる。ただでさえ、米政府から兵器を買う有償軍事援助(FMS)は増加傾向にあり、19年度予算では過去最大の7013億円と、10年前の11倍になった。ある防衛相経験者は「国内の防衛産業の衰えにつながる」と懸念する。(2019/11/22)

また、原因は、先行文脈にもあらわれる。

- ・公募美術展「日展」の不公正な審査を巡る調査で、日展事務局が第三者委員会(委員長・浜田邦夫元最高裁判事)に代わり、審査関係者に調査書を送って回収していたことがわかった。日展上層部に漏れることを懸念して内部告発情報が寄せられない恐れがある。文化庁は21日、第三者委が独立して

機能していない可能性があるとして改善を指導した。(2013/11/22)

- ・だが、新型ウイルスは、利用者が正規のサイトに入り、IDやパスワードを打ち込んで自分の口座に接続している間に、他の口座への不正送金の手続きを進める。追加のパスワードが必要な場合は、偽のサイトを表示させるなどして盗み取る。ワンタイムパスワードを入れると、ログインだけで送金される例もある。このためワンタイムパスワードにするだけでは不正送金を防げない恐れがある。(2014/9/17)
- ・イランの反発や国際社会の懸念をよそに、米国は11月、イランの歳入の約6割を占める原油も制裁の対象に加えた。イランと取引した外国企業は米金融市場から締め出され、世界経済から孤立する恐れがある。(2018/12/5)
- ・厚生労働省が公表している「毎月勤労統計」について、一部の調査が本来とは違う手法で実施されていたことが28日、分かった。景気を判断する重要な統計などにも影響が出る恐れがある。統計への信頼が揺らぎかねない状況だ。(2018/12/29)
- ・イスラエルが占領するゴラン高原について、トランプ米大統領が同国の主権を認めた。中東情勢がさらに緊張する恐れがある。(2019/3/23)
- ・世界貿易機関(WTO)の上級委員会が機能を停止する。米国の反対で委員が選べず、必要数に足りなくなるためだ。保護主義的な動きに歯止めがかからなくなる恐れがある。(2019/12/11)
- ・新型コロナウイルスの患者の受け入れに専念したり、院内感染が起きたりして、救命救急センターが新型コロナ以外の重症者を診る、本来の機能を制限し始めている。朝日新聞が22日時点の全国の状況を調べると、少なくとも東京都や大阪府などの7カ所で制限していた。救命救急センターが担ってきた一刻を争う救急医療の縮小につながり、本来なら助けられる生命に影響する恐れがある。(2020/4/25)
- ・また、19年度の実質成長率は前年度比0・1%減だった。年度でマイナスになるのは、消費税率が8%に上がった14年度の0・4%減以来、5年ぶり。政府は19年度の実質成長率を0・9%程度と想定しているが、実績はこれを大きく下回った。税収不足につながり、財政をさらに圧迫する恐れがある。(2020/5/19)

以上のように、「恐れがある」は、ただ将来によくないことが起こる可能性をあらわすのではなく、条件づけ・条件づけられの関係のなかに可能性をとらえるという特徴がある。ただし、「恐れがある」は条件可能の表現であるといいきることはできない。一部にそうでない用例もみられるからである。

- ・【ロンドン20日＝吉田(秀)特派員】観光客でにぎわうロンドンのテムズ川で、20日午前2時(日本時間同10時)前、ディスコ・パーティーを開いていた遊覧船と砂しゅんせつ船が衝突し、遊覧船は沈没した。遊覧船の乗客・乗員のうち89人は救助されたが、ロンドン警察の発表では1人の死亡が確認され、行方不明者は、約60人に達する恐れがある。入院した負傷者もいる。日本人は乗っていなかった模様だが、日本大使館が確認を急いでいる。(1989/8/21)
- ・リクルートによると今春卒業予定の就職希望者(10年4月時点)は1・9%増えたのに、採用予定数(同12月時点)は2・2%減った。昨年春に卒業した学生の8万7千人が就職できなかった。今年はさらに増える恐れがある。(2011/1/5)

これらの例には、可能性が生じることを条件づける要素がない。ただ、いずれの例も、状況が深刻であることが前提となっており、そのことに条件づけられているといえるかもしれない。

3.2 時間的限定性

次に、時間的限定性の観点から、「恐れがある」をみていく。時間的限定性とは、できごととなりたつ時間の限定の有無をいう。可能文の場合は、いつ可能であるかに関して時間の限定があるかないかである。たとえば、「私は泳げる」という文には時間の限定がないが、「今日は会えないけど、明日なら会える」という文には限定がある。前者を「ポテンシャルな可能」、後者を「アクチュアルな可能」と呼ぶ(宮崎2014、2016)。この区別は、可能性を表す文についてもなりたつ(宮崎2018、2019)。

本来、「恐れ」は具体的なできごとに対して抱く心情であろうから、「恐れがある」の時間的限定性は、基本的にアクチュアルであろうと予想されるが、そうではないものもある。たしかにアクチュアルなものが多いが、筆者が目を通した450例中、ポテンシャルなものも2割ほど存在するとみられる(判定が難しい例も少なくなく、明確な数値は示せない)。

では、まずアクチュアルな可能の例をいくつかあげよう。その多くは、以下の用例のように、人間が生存・生活する環境や国際的な情勢、社会的な状況などが将来変化することに対する危機意識をのべるものである。

- ・日本人の脂肪摂取量はふえ続けており、このままでは将来、高脂血症や心臓病、糖尿病などをふやす恐れがある。(1985/5/17)
- ・オゾンは太陽からの有害な紫外線を吸収して地球の生物を守っているが、10年以上前から噴霧器などに使われるフロンガスによるオゾン層破壊が指摘され始めた。今後数十年から100年もたつと成層圏にオゾンの薄い空間がたくさんでき、紫外線がまともに地表を襲う恐れがある。このため、85年3月に締結された「オゾン層保護のためのウィーン条約」でも、人工衛星を使ったオゾン層の観測や、各国の研究協力、情報交換などが定められた。(1989/12/30)
- ・歳出面では、当初3500億円が計上されていた予備費から、2000億円が多国籍軍支援費の一部に回されてしまい、その分、当初予算案を減額修正し、予備費は1500億円しか計上されていない。このため今後、災害や公務員給与の改善による歳出増などを考えると、早い段階で予備費を使い果たす恐れがある。そこで当初から予算の一部の執行を事実上、凍結・削減し、ひねり出した財源を、避けられない追加的支出の財源に充てるのが狙い。(1991/4/11)
- ・関東や中部、東北地方の太平洋側では今後、一時間に四〇―六〇ミリの激しい雨が見込まれる。二十七日夕までの雨量は、関東から東北地方の太平洋側で三〇―三五ミリ、伊豆半島で二〇―二五ミリ、伊豆諸島で一〇―一五ミリに達する恐れがある。(1993/8/27)
- ・加入者が減り、資金運用難から解散した「日本紡績業厚生年金基金」に加入していた大阪府の紡績会社が、同基金の事務局を相手取り、年金を支給するために補てんした約七千万円の損害賠償を求める訴訟を今週中にも大阪地裁に起こす。厚生年金基金の破たんに関連して賠償を求める訴訟は全国で初めて。背景には、繊維産業で従業員が減り続ける一方で、年金受給者が増えている事情があるが、今

後、円高などで産業の空洞化がすすんで衰退産業がふえると、同じような問題が起きる恐れがある。
(1995/5/28)

- ・アイスランド南東部にある欧州最大の氷河、バトナ氷河の下で、今月初めから火山活動が活発化。厚い氷の壁を突き破り、12日には高さ約4000メートルの噴煙を噴き上げた＝写真、ロイター。地質学者らによると、火山の熱によって、氷河の表面には、長さ約3.5キロ、幅200メートル以上の湖ができていたほか、氷河の下に以前からあった、もう一つの湖の水位も上昇している。その水が氷河の切れ目から突然、噴出する「氷河爆発」が起き、大規模な洪水になる恐れがある。(1996/10/15)
- ・新潟県中越地震で、崩れた土砂が川をせき止める「天然ダム」ができていた問題で、県が31日、山古志村などを調査した結果、一部は満水に近いことが分かった。断続的に雨が降っており、決壊すれば、下流の堀之内町(1日から魚沼市)を含め土石流被害が出る恐れがある。県は31日、自衛隊のヘリコプターで掘削機を運び、排水路づくりを始めた。同日の余震は震度3を最高に、体を感じる地震は20回だった。31日午後4時現在の全体の避難者は6万8847人で、震災翌日の24日以降、初めて7万人を下回った。(2004/11/1)
- ・地球温暖化に伴って白化現象が進み大きな被害が予測されるサンゴ礁に、新たな脅威が広がっている。「ホワイトシンドローム」と呼ばれる病気で、オーストラリアや沖縄など世界各地のサンゴ礁で見つかった。発症したサンゴのほとんどが1年以内に死ぬという。原因は不明だが感染症の一種とみられる。この病気は今後、白化によるサンゴ減少に拍車をかける恐れがある。(2007/6/24)
- ・法曹界ではかねて「2007年問題」として就職難を危ぶむ声が高まっていた。合格者は10年には3千人に増える見通しで、来年以降はさらに深刻になる恐れがある。(2007/8/27)
- ・爆発当時、路上付近には多数の治安要員がいた。住宅街を含む周囲約1キロの建物の多くが全半壊しており、死傷者はさらに増える見通しだ。昨年12月以来、首都では治安、情報機関などを狙った爆弾攻撃が頻発しているが、最大規模となった。今後、全面的な内戦となる恐れがある。(2012/5/11)
- ・VWは今回の対応のため、7～9月期決算に特別損失として65億ユーロ(約8700億円)を計上する方針も明らかにした。このままいけば、同期は純損益が赤字に転落する可能性がある。22日の欧州株式市場ではVWの株価は前日終値から一時23%下がり、2日続けて2割前後の下落となった。VWはトヨタ自動車と世界の自動車販売で首位を競うが、今後の販売などに影響が出る恐れがある。(2015/9/23)
- ・非常に強い台風18号は15日、東シナ海を北寄りにゆっくり進んだ。気象庁によると、今後は東に進路を変え、17日には九州に接近、上陸する恐れがある。その後は日本列島を北上するとみられ、3連休は広い範囲で大雨や暴風に警戒が必要になる。(2017/9/16)
- ・米ロの中距離核戦力(INF)全廃条約をめぐり、ポンペオ米国務長官は1日、離脱を正式に宣言した。ロシアに離脱を通告し、条約は6カ月後に失効する。1987年に米ソで結ばれ冷戦終結につながった歴史的な条約だったが、今後は中国も巻き込んで軍拡競争が進む恐れがある。(2019/2/2)
- ・農研機構の石郷岡康史・上級研究員は「温暖化が進むと、東北で良質なコメが取れなくなるなど作物の適地が大きく変わる恐れがある。栽培や収穫の時期をずらしたり、品種の改良を重ねたりする工夫が求められる一方、気温上昇を抑える抜本的な対策が欠かせない」と話す。(2019/9/17)
- ・だが、重症者がこのまま増え続ければ、受け入れベッドの拡大は避けられない。通常の医療との両立が崩壊し、心筋梗塞や肺炎などが増える冬場に深刻な混乱が生じる恐れがある。(2020/11/28)

これらの用例では、いつということは特定できないとしても、そのできごとが未来のある

具体的な時間に起こる可能性があることをのべている。すなわち、アクチュアルな可能の例である。

これに対して、次にあげる用例では、そのできごとが起こる時間は限定されていない。たとえば、最初の例では、誰がいつどこでプロログをパソコンで作動させるかは問題になっておらず、誰がいつどこで作動させても、その可能性はある。二つめの例も同様に、無人島で夜眠る場合の一般的な危険性に言及している。

- ・プロログをパソコンで作動させると、CPUの能力をかなり使ってしまうため、推論や計算など肝心のプロログのプログラムが十分に働かない恐れがある。このため新システムでは使用目的を教育分野に限り、ソフトを既製品化する。また、家庭内ではプログラムを書き込めないようにパッケージ化して、安くて簡単に使えるようになった。(1986/3/30)
- ・夜、眠る。これは他人には関係がないと思うかもしれないが、無人島では猛獣や蛇に襲われる恐れがある。ここでも、町の夜の暮らしの安全が、たくさんの人によって守られていることに気づくだろう。いろいろなことを無人島というレンズにかけて調べてみなさい。そうすれば私たちがどれほど多くの人の世話になって生きているかがわかる。矢野さんはそう教える▼(1988/3/30)
- ・〈簡易課税制度〉経費に含まれる税額をいちいち計算せず、経費率、マージン率を一律に見なして、売上高だけから納税額をはじく。納税事務が極めて簡単になる半面、マージン率は業種や企業によって差が大きく、適用範囲を広げ過ぎると新たな不公平を生む恐れがある。(1988/5/24)
- ・同社によると、通話をしなくても、ただ受話器を上げるだけで電話機が交換機に接続しようとするため、技術的には通話と同様の状態になる。同時に多数の受話器が上がった場合、通話が殺到したときに起こる「輻輳」と呼ばれる現象と同じことが起き、広範囲で電話がかかりにくくなる恐れがある。(1999/12/24)
- ・「風まかせの風力発電は不安定で、周波数を乱す恐れがある。高く買い取る経済的負担も重い」というのが、北電のいい分だ。(2001/1/11)
- ・情報システムを管理するサーバーなどのコンピューターで、データを書き込んでいる最中に、突然、電圧が急変したり、瞬間的な停電が起きてコンピューターなどが停止したりすると、データが消失し、再現できない恐れがある。(2003/6/22)
- ・TCASは別の航空機の接近を察知して回避行動を指示する仕組みだ。しかし、今回のように高度計と異なった高度で飛行した場合、高度計のデータをもとに接近状況を判断するため、実際の衝突を回避できない恐れがある。接近してくる他の航空機のTCASも、誤った高度をもとに作動する可能性が高いという。(2005/6/15)
- ・大手銀行による変額年金保険の販売が伸びている。運用成績が良ければ年金額が増えるという期待に加え、顧客が死亡した時にもお金が支払われる保険商品であることが人気の理由だ。ただ、主流の「元本保証型」であっても、中途解約すれば大幅に元本割れする恐れがある。説明不足によるトラブルも絶えず、金融庁は販売手法に問題がないか、銀行への検査で重点的に調べ出した。(2007/2/17)
- ・日本では、「住まい」は様々な権利の基点とされる。住居がないと住民票が作れず、国民健康保険や年金が得られなかったり、選挙に行けなくなったりする恐れがある。(2009/8/15)
- ・全身の被曝線量が100ミリシーベルトを超えると成人でもがんのリスクが高まる恐れがある。子どもは放射線の健康影響を3倍以上受けやすい。ただし、今回は間隔をあけて複数回の検査を受けた子も含まれることなどから、検査直後に健康被害が出る被曝線量ではないとみられている。(2011/9/1)

- ・大地震や大津波が一带を襲えば、二つ以上の原発がほぼ同時に事故に見舞われることはありうる。実際、東日本大震災でも福島第一原発だけでなく、福島第二原発も危険な状態だった。同時多発で風向きが変われば、避けたはずの放射性物質が別の方向から流れてくる恐れがある。避難や防災対策がより難しくなる。(2012/10/25)
- ・〈熱中症〉 高温多湿のところに長くいることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体の調節機能が働かなくなって熱がたまり、発症する。めまいや失神、筋肉のけいれん、嘔吐、頭痛などが起き、対応が遅れると多臓器不全を起こして死亡する恐れがある。(2014/6/22)
- ・太陽フレアは、太陽の黒点周辺で起こる爆発で、表面のガスが宇宙に放出される。このガスが地球を覆う地磁気にぶつкаると、磁気が乱れて電子機器などに影響する恐れがある。(2017/9/8)
- ・風疹の患者が関東を中心に増えている。国立感染症研究所は21日、注意を呼びかける緊急情報を出した。今年の患者数は12日現在で139人で、昨年の年間患者数93人を大幅に上回る。風疹は妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんに障害がでる恐れがある。感染研は妊婦の家族や予防接種率の低い30～50歳代男性などに任意の予防接種を呼びかけている。(2018/8/22)
- ・新型コロナウイルスは、感染者のせきやくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染や、ウイルスが付いた手で口や鼻を触ることによる接触感染でうつる。潜伏期間が1～14日ほどと、インフルエンザの1～3日に対して長く、発症前でも感染を広げる恐れがある。発症後もしばらくは症状がかぜと同じで気づきにくい。(2020/3/2)

テーマは、プログラム、無人島、簡易課税制度、電話機、風力発電などさまざまであるが、これらの用例では、それらの本質的な特性によってよくないことが起こる可能性が時間にしばられずに一般的に存在することがあきらかにされている。すなわち、ポテンシャルな可能の例である。

筆者の調査では、「恐れがある」の用例の多くがアクチュアルな可能として使用されているが、ポテンシャルな可能の用例も例外とみなせるほど少なくはない。あとでみるように、「危険がある」「懸念がある」は、これとはかなり違った様相を呈する。

3.3 「恐れがある」のテンス

「恐れがある」には過去形「恐れがあった」があり、現在形「恐れがある」とテンス対立をなす。ただし、この対立がなりたつのは、当然のことながら、アクチュアルな可能の場合であって、ポテンシャルな可能の「恐れがある」には過去形がない。現在形は「恐れ」が現在に存在することを、過去形は「恐れ」が過去に存在したことをあらわす。今回の調査(面名を「一面」(1面総合)と指定)では、現在形が450例あるのに対して、過去形は28例しかない。新聞記事であるから、いまある危機を報道するものが多いのは当然のことだろう。

「恐れがあった」は、ただ「恐れ」が過去に存在したことをのみをあらわすのではなく、現在ではその「恐れ」がなくなっていることをもあらわす。現在もなお「恐れ」が存在するならば、過去形ではあらわせないのである。以下の用例では、過去に存在した「恐れ」がその後なくなっていることが文脈からわかる。

- ・安田信託銀行は昨年末の金融不安の中で信用力が低下し、自己資本増強のために富士銀行など芙蓉グループ金融機関に対して一千億円の増資引き受けの要請方針を固めている。この増資策で富士銀行は五百億円を引き受けることを検討してきたが、富士銀の持ち株比率は現在の株価で試算すると三・九%から二〇%弱に増えることになるため、従来の制限に反する恐れがあった。しかし、公取委との調整の結果、公取委も問題ないと判断したとみられる。芙蓉グループ金融機関は、将来的には金融持ち株会社のもとにまとまることを視野に入れているが、従来より楽に資本面での関係が強化できることになる。(1998/2/4)
- ・証券取引法によると、証券会社は証券業務しか行えない。この規定に反すると、一年以下の懲役や百万円以下の罰金が科せられる。相談手数料を取ることが正式に認められる以前の九二年当時は、相談相手の企業の上場が中止されたり、延期されたりした場合、証券会社は収入が一切得られない恐れがあった。(1998/3/8)
- ・3日午後4時27分ごろ、静岡市清水区草薙3丁目の住宅街に、連休中の交通渋滞状況を調べていた静岡県警の小型ヘリ「ふじ1号」が墜落、炎上した。乗っていた斎藤紳一交通規制課長(49)ら警察官4人と一般職員の計5人全員が死亡した。住民らにけがはなかった。ヘリは住宅などの上をかすめながらアパートの屋根を一部壊して墜落しており、数メートル落下地点がずれていれば住民が巻き込まれる恐れがあった。県警などが墜落原因を調べている。(2005/5/4)

人間は「恐れ」が現実とならないよう行動を起こそうとする。次にあげるのは、「恐れ」を動機として、後続文脈に予防的な行動をとったことが示されている例である。

- ・しかし、04年度以降、10年間の返済期限を迎えた府債が急増。減債基金を取り崩して返済に充てていくと、07年度にも基金が枯渇する恐れがあった。その場合、赤字額を圧縮できずに財政再建団体に転落してしまうため、府は一部の借金の返済先送りを決めた。(2007/12/30)
- ・この対立では、両国が核による威嚇も辞さない恐れがあった。国務長官だったパウエル氏はパキスタン首脳に電話し「あなたも私も核など使えないことはわかっているはずだ」と自重を促したという。さらに「1945年8月の後、初めてこんな兵器を使う国になるつもりなのか。もう一度、広島、長崎の写真を見てはどうか」と迫ると、パキスタン側は「ノー」と答えた。インド側も同様な反応だった。こうした説得の結果、危機は去った、と振り返った。(2013/7/10)
- ・もし宿泊客が広告画像をクリックすれば、ウイルスに感染するサイトに誘導され、パソコン内の情報を盗み取られたり、ほかのパソコンにウイルスをばらまいたりする恐れがあった。設定改ざんの事実を旅館に伝え、パスワード設定などの対策を講じてもらった。(2016/5/22)

「恐れ」を動機としてとった行動が先行文脈に示されていれば、そこには説明の構造(奥田1990)が成立し、行動をあらわす文が説明されの文、「恐れがあった」の文が説明の文としてはたらく。

- ・地震や台風など災害時の緊急連絡手段になっている地方自治体の防災無線に、民間通信衛星を活用しようと、郵政省が具体的な検討を始めた。現在の防災無線は、都道府県や市町村の庁舎などに取り付けたアンテナを、地上のマイクロ波で結んでいるため、巨大地震で中継アンテナそのものが破壊さ

れた場合など、無線が使えない恐れがあった。自治省や地方自治体はこのため、宇宙通信利用を早くから検討、構想を提案してきた。これに加え今回、電波の監督官庁である郵政省が、具体的な検討を始めたことによって、災害時により強い「宇宙からの防災無線」の実現に、一歩近づいた格好だ。(1989/3/24)

- ・ 三社は、次世代型S T Bの仕様のほか、有料放送視聴者ごとに料金を算出するシステムや、有料であることを了解した視聴者向けに、画像にかけられた暗号を解くシステムの統一を図ることで合意した。現在のC SやB Sの暗号システムは、開発メーカーによって仕組みが異なるため、今後、B Sデジタル放送やC S放送が本格化した場合、メーカーごとにS T Bの仕様が異なり、視聴者の混乱を招く恐れがあった。(2000/6/23)
- ・ 南スーダンの国連平和維持活動(P K O)に派遣されている陸上自衛隊の派遣隊長が今年1月上旬、首都ジュバの宿営地付近で銃撃戦が起きた際、全隊員に武器と銃弾を携行させ、「正当防衛や緊急避難に該当する場合は命を守るために撃て」と命じていたことがわかった。P K O施設内に多数の避難民がおり、彼らが狙われた場合、自衛隊員に流れ弾が当たる恐れがあった。実際に発砲には至らなかったものの、射撃許可が出された経緯が明らかになるのは異例。(2014/4/21)
- ・ 地震の影響で、東京電力は22日、福島第一原発の原子炉建屋地下などにたまる高濃度汚染水の移送を手動停止した。建屋から放射性物質を取り除く設備につながる配管などが地震で壊れていた場合、汚染水が漏れ出る恐れがあった。配管や設備を点検し、約9時間後に移送を再開した。(2016/11/23)

3.4 「恐れがある」のみとめかた

「恐れがある」にはみとめかたの対立があり、否定形式は「恐れはない」である。肯定形式はよくないことが起こる可能性があることをあらわし、否定形式はよくないことが起こる可能性がないことをあらわす。

面名を指定せずに検索を行った場合、「恐れがある。」の用例を含む記事が6037件あるのに対して、否定形式の用例は36例しかないが(注5)、少ないとはいえ、「疑いがある」のように否定形式が存在しない(宮崎2019)というわけではなく、みとめかたの対立は成立しているといっていよう。以下に用例の一部をあげる。

- ・ 防衛庁長官 政府は平和憲法の下、専守防衛に徹し、日米安保体制を堅持し、文民統制を確保、節度ある防衛力の整備に努めており、他国に脅威を与える恐れはない。わが国が軍事大国になることはありえない。(1988/2/4)
- ・ 行革会議の論議では、金融秩序と対外通貨価値の維持の機能は大蔵省に残さないと不都合が起きるという意見が多かったようだが、これは正しくない。もともと前者の機能は大蔵省、日銀と金融監督庁、後者の機能は大蔵省と日銀が分担する。だから、もし同省から金融を切り離して金融監督庁も含む金融省を創設しても機能不全が起きる恐れはない。(1997/9/4)
- ・ 一方、民営化との関連では、運用に失敗した場合の利用者の負担と受益の関係も問題になる。郵貯・簡保の払い戻しは現在、国が全額保証しており、損失が出ても国が財政資金(税金)で穴埋めするため、個人の貯金が焦げ付いたり、約束された保険金が返ってこなかったりする恐れはない。民営化した場合、利用者負担をどうするかも、懇談会の論点になる。(2001/6/5)
- ・ 富士通によると、静脈の形状は一生変わらず、一人ひとり違う。マウスから近赤外線を当てて静脈パ

ターンを撮影、登録しておき、重要情報にアクセスするたびにセンサーで同一人物かどうかを判定する。英数字などのID、パスワードと違い、体内情報なので盗まれる恐れはない。(2002/8/29)

- ・商標登録は出願から登録まで短くて半年。その前に他社がすでに登録しているかを調査したりする必要もある。ところがアルファベット2文字は商標登録できない決まり。どんな組み合わせでも先に登録されている恐れはない。時間短縮のためにアルファベット2文字が先に決まった。何種類かの中から選ばれたのが「a u」。発表時の説明は、aがアクセス、アメニティー……、uはユニーク、ユーザー……。ありきたりの言葉が並んでいた。商標登録も当然、しなかった。(2007/8/22)
- ・債権者はパナソニック1社のみのため、影響がほかの企業に広がる恐れはない。同社は既に4943億円の損失を引き当てているが、17年3月期にも57億円を追加計上する。(2016/11/1)

なお、否定形式の用例には、次のような接続例がみられる。このような接続(「しそうな恐れ」「するような恐れ」)は肯定形式にはない。

- ・『氷河が来るまでに』の主人公は鬱病を病む中年の男性、6年前から、病院へ通って治療を受けている。長男は大学を出て就職し、会社の寮に入っている。高校3年の次男と中学2年の長女は、ときに陰悪な仲になることもあるが、大暴発しそうな恐れはない。問題はもっぱら主人公の状態である。「このままだと、この家沈没だわ」と心配する妻をはじめ、家族みんながいつも主人公の様子に気をつけている。(1990/12/9)
- ・塚本 金主席の死去自体で、大きな変化は起きない。現在程度の緊張がしばらく続くが、大戦に発展するような恐れはない。今、米朝会談が開かれている、というタイミングはいい。米国は韓国軍を抑える一方、北朝鮮側に軽挙妄動を控えるよう直接伝えると思う。(1994/7/10)

3.5 動詞の形態

続いて、「恐れがある」とくみあわさる動詞のテンス・アスペクトとみとめかたについてみていくが、その前に、動詞の形態^(注6)の年ごとの分布を表にして示す。数値は面名を「一面」(1面総合)と指定して検索して収集した用例の数である(「という恐れがある」は含まない)。形容詞に接続したものが1例あり、これも表に含めておく。

	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
する	4	9	12	3	11	8	4	3	3	10	2	10	7	7	8	9	4	6	0
したりする	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
している	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
していた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
してしまう	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
していく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
してくる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しない	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0
形容詞非過去形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
する	11	16	14	7	18	10	20	21	25	8	11	15	11	8	17	21	26	27
したりする	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
している	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0
した	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
していた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
してしまう	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
していく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
してくる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しない	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	0	1	1
形容詞非過去形	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

さらに、これをテンス・アスペクト・みとめかたのパラダイムに整理して集計すると、まず肯定形式では、完成相非過去形が圧倒的に多く、420例で全体の93.3%をしめる。完成相過去形は3例、継続相非過去形は7例、継続相過去形は1例にとどまる。否定形式では、18例のすべてが完成相非過去形である。

では、以下に、テンス・アスペクト、みとめかたのそれぞれについてみていく。

3.6 動詞のテンス・アスペクト

すでにのべたように、可能性を表す文の記述においては、動詞のテンス・アスペクトがきわめて重要な観点となるが、上にもみたように、「恐れがある」とくみあわさる動詞は、その多く（9割以上）が完成相非過去形である。これは「可能性がある」とも「疑いがある」と

も異なる特徴であり、「危険がある」「懸念がある」と共通する特徴である（後述）。

完成相非過去形の用例はすでにたくさんあげたので、以下ではそれ以外の用例をみておこう。まず、完成相過去形の3例のすべてをあげる。

- ・この「文明病」が日本に上陸した恐れがある。いや、あまり大げさな言い方はしない方がいいのかもしれない。それでなくても、この病気は必要以上に恐怖心をおおる可能性がある。正確な情報に基づいた的確な行動、これが肝要である。その情報を管理する役所の責任は重い▼(2001/9/12)
- ・肝炎感染のリスクがある血液製剤を使った可能性があるとして、約1800の医療機関名が公表された。血友病以外の治療で、止血目的で投与された恐れがある。厚生労働省は、広く検査を呼びかけている。(2008/7/2)
- ・かんぽ生命は8日、顧客に保険の新旧契約を重複して結ばせ、保険料を二重に払わせたケースが約2万2千件あると明らかにした。新契約開始から旧契約終了までの期間が6カ月を超えると、乗り換えでなく新契約となり、営業手当が増える。販売を担う郵便局員が手当ほしさから、顧客に不利益を強いた恐れがある。(2019/7/9)

ごく少数だからといって誤用と決めつけるわけにはいかないが、用例数の少なさは、「恐れがある」のこうした使い方が十分には広がっていないということを意味していると思われる。筆者であれば、最初の例は「可能性がある」を、あとの2例は「疑いがある」を使用する（「可能性がある」でもよい）。

継続相過去形の例は次の1例である。この例も同様で、筆者ならば、「疑いがある」を使用する。

- ・公文書の管理を各部署に任せている市町村も多く、全庁的な判断の有無とその時期が重要になる。例えば宮城県気仙沼市は昨年になって「当分の間は捨てない」と定めたが、それ以前は捨てていた恐れがある。一方、廃棄した文書が「ない」と回答した岩手県釜石市は12年、「11年度以降の震災公文書は全て永久保存」と決めており、早期の判断で対応が分かれた。(2019/3/3)

継続相非過去形の例は過去形よりはやや多く、7例ある。そのうちの3例をあげる。

- ・ただ、国交省によると、J I S 順守は必ずしも義務でなく、「J I S 違反がただちに違法とは限らない」という。こうしたあいまいさが、現場の誤解と検査の不徹底を招いている恐れがある。(2007/5/8)
- ・「いのちの電話」が相談員不足で、「24時間受け付け」ができなくなっている。無償ボランティアの相談員は7年間で1割以上減り、各地で電話をとれないケースが続出。救えたはずの命を救えなくなっている恐れがある。(2008/12/29)
- ・日本政府への盗聴疑惑が明らかになった米国家安全保障局。I T 大手などがデータ提供しているとの情報があり、一般市民も標的になっている恐れがある。(2015/9/4)

これらも「可能性がある」を使いたいところだが、完成相過去形の例にくらべれば、落ち

着きは悪くない。なお、7例はすべてアクチュアルな可能であったが、ポテンシャルな可能にも継続相非過去形はあらわれる(後述)。

「恐れがある」はもともと完成相非過去形の動詞とくみあわせり、将来によくないことが起こる可能性をあらわしていたのであろう。いまでもそれが基本であるが、わずかに過去形や継続相非過去形の例がみられるのは、徐々に、可能性をあらわす一般的な形式へと変化しつつある、その兆しではないだろうか。そして、このテンス面の拡張は、未来→現在→過去という順序で起こっているのではないだろうか。

この仮説を裏づけるために、調査の範囲を広げてみよう。これまでにあげた用例や用例数は、面名を「一面」(1面総合)と指定して収集した結果によるものであったが、次は、面名を指定せず、すべての面を対象として調査する(「恐れがある。」を含む記事の総数は6037件である)。次表はその結果である。

	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
シタ恐れがある	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0
シテイル恐れがある	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	2	1	0	2
シテイタ恐れがある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
シタ恐れがある	0	0	4	0	2	3	1	2	5	2	0	3	1	3	1	3	4	1
シテイル恐れがある	2	1	4	1	2	3	1	2	7	0	4	3	3	2	2	2	2	5
シテイタ恐れがある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

2002年までと2003年からに分割して集計すると、次のようになる。

	1984～2002	2003～2020
シタ恐れがある	4	35
シテイル恐れがある	12	46
シテイタ恐れがある	0	2

このように、調査範囲の前半期から後半期へと著しい増加がみられることがわかる(ちなみに、「恐れがある。」を含む記事の件数(用例数ではない)は、前半期が2456で、後半期が3581である)。また、継続相非過去形の使用が完成相過去形の使用をリードしていることもわかる。ただし、増加率は完成相過去形のほうが高い。

ここでもう一つ指摘しておきたいことがある。それはポテンシャルな可能をあらわす場合の継続相非過去形(シテイル)についてである。次の例をみられたい。

- ・《買う時は》ともに株がグラついているのは、植え替えなどで、根が切れている恐れがある。ポインセチアは苞葉がたくさん付いていて、下葉も落ちていないものを。シャコバサボテンは花芽がびっしり付いていて、葉にしわがよっていないものを。葉のしわは根が傷んでいる証拠。(1996/10/5)

この例のように、ポテンシャルな可能にもシテイル形があらわれることがある。この例では、「(株が) グラついている」との同時関係をあらわすために継続相非過去形の「(根が) 切れている」が使用されていると考えられる。アクチュアルな可能の場合には、「恐れ」の存在時が相対的テンスの基準時となると考えたが、ポテンシャルな可能の場合は、ほかのできごとの成立時が基準時となるようである。

3.7 動詞のみとめかた

動詞の否定形式とくみあわさった「恐れがある」は18例あった(1面総合のみ)。「恐れがある」とくみあわさる動詞におけるみとめかたの対立は、起こることがよくないのか(肯定形式)、起こらないことがよくないのか(否定形式)の違いである。以下に、否定形式の用例のうち、アクチュアルな可能の例とポテンシャルな可能の例を3例ずつあげる。

- ・さらに、投入される財政資金は六千億円規模にとどまらない恐れがある。新設される債権回収機関が買い取る六兆七千億円の債権の中には、「ほぼ回収不能」とされる一兆二千億円と「回収が通常より困難」という二兆円の債権も含まれており、これは将来の損失になる公算が大きい。母体行はこの負担をかぶることに強く反発している。何年後かにはまた巨額の税金がこの損失の穴埋めに使われないという保証はない。(1995/12/19)
- ・独禁法が厳格に運用されると、経営不振企業の救済合併や事業部門ごとの買収が進まない恐れがある。このため、シェアが基準を超える場合でも審査を簡素化してもらい、合併や部門売却による設備の集約化を促進。各企業が得意分野に「すみ分け」をして競争力を向上させるのが産業界や通産省のねらいだ。(1999/4/18)
- ・国内では02～03年にタミフルが足りなくなったことがあり、中外はその後、供給量を増やしてきた。だが、流行の規模が過去の例を大きく上回った場合、輸入だと時間がかかって安定供給できない恐れがある。国内に製造設備があれば、短期間で供給量を増やせる。厚生労働省の強い要望もあり、国内生産に乗り出すことにした。(2006/2/10)
- ・情報システムを管理するサーバーなどのコンピューターで、データを書き込んでいる最中に、突然、電圧が急変したり、瞬間的な停電が起きてコンピューターなどが停止したりすると、データが消失し、再現できない恐れがある。(2003/6/22)
- ・TCASは別の航空機の接近を察知して回避行動を指示する仕組みだ。しかし、今回のように高度計と異なった高度で飛行した場合、高度計のデータをもとに接近状況を判断するため、実際の衝突を回避できない恐れがある。接近してくる他の航空機のTCASも、誤った高度をもとに作動する可能性が高いという。(2005/6/15)
- ・だが、新型ウイルスは、利用者が正規のサイトに入り、IDやパスワードを打ち込んで自分の口座に接続している間に、他の口座への不正送金の手続きを進める。追加のパスワードが必要な場合は、偽のサイトを表示させるなどして盗み取る。ワンタイムパスワードを入れると、ログインだけで送金

される例もある。このためワнтаイムパスワードにするだけでは不正送金を防げない恐れがある。
(2014/9/17)

4. 「危険がある」と「懸念がある」

4.1 概観

「恐れがある」と同様に、よくないことに関する可能性をあらわす表現として、「危険がある」と「懸念がある」がある。この三者は類義の関係にあり、置き換えられる場合も少なくない。ただし、「危険がある」「懸念がある」から「恐れがある」への置き換えはたいてい可能であるが、逆方向の置き換えはできないこともある。また、「危険がある」と「懸念がある」を相互に置き換えることはできないことが多い。それは、「恐れがある」が「危険がある」や「懸念がある」よりも、よくないことが起こる可能性をより一般的にとらえているということによると思われる。「恐れがある」は、「恐れ」の意味が抽象化し、「可能性」＋否定的評価といった意味に近づいているのに対し、「危険がある」「懸念がある」の「危険」「懸念」は、もとの語彙の意味をかなりの程度保存しているのだろう。

「恐れがある」が可能性の表現としてより一般的で、「危険がある」「懸念がある」がより特殊であるということは、用例数にも反映している。面名を「一面」(1面総合)と指定して句点をつけて検索したところ、「恐れがある」が450例収集できたのに対して、「危険がある」は35例、「懸念がある」は36例にとどまる。また、「懸念がある」は文法化の度合いが低く、次のように、合成述語を構成しない例も多くみられる。

- ・米国には、アジア太平洋地域の重要な同盟国となる日韓の対立は米国の国益に悪影響を与えかねないという懸念がある。(2019/8/1)
- ・記述式問題をめぐっては、約50万人の受験生の答案を採点するため、採点者が8千～1万人必要となる。短期間で正確な採点ができるか懸念がある。特に国語では自己採点が難しく、受験生が自らにふさわしい大学を選べるか不安視されている。(2019/12/6)

では、「恐れがある」について記述したのと同じ観点から、具体的に「危険がある」「懸念がある」についても記述していこう。まず、「恐れがある」と類似する点から記述し、相違点はあとでのべる。

4.2 条件可能

まず、基本的に条件可能であるという点については、三者に共通であるといってよい。「危険がある」「懸念がある」についても、ほとんどの例で条件的・原因的な要素が当該文や先行文脈のなかに存在している。

- ・悪評高い高額退職金は五十三年白書の役員一人平均千八百六万円をピークに減少傾向だったが、今回の白書では千三百五十二万円(平均在職期間四年一カ月)で、前年より百五十三万円アップした。天井下りに対する監視の目がゆるむと再び退職金が増え始める危険がある。(1985/4/8)
- ・「国連平和協力法案」が衆院で廃案になったのは、平和憲法の本質からいって当然の帰結と思うが、事は「コレニ一件落着」というようなものではない。「軍事力行使に至らぬ限度での大々的な国際貢献」をしないことには、日本は完全に孤立する危険がある。(1990/11/21)
- ・エイズに立ち向かうには、まず正確な情報と知識が必要だ。そうでないと、きちんと対応できないだけでなく、誤解から差別の感情が生まれる危険がある。高校生にエイズ教育を施す場合は、断片的情報を得て恐怖感だけが増すような結果にならぬよう注意が肝心だ▼(1992/3/4)
- ・ただ、急速な円高の進展は日本の輸出企業の競争力を弱め、景気回復を遅らせる懸念がある。このため、大蔵省、日銀は円売り・ドル買いの市場介入をちらつかせており、これに対する警戒感から、ドルはやや買い戻された。(1992/9/25)
- ・対日赤字は、季節調整前で四十三億八千八百万ドル(通関ベース)となり、前月に比べて一九・九%減少したが、米国の最大の赤字相手国であることは変わっていない。日米新経済協議は難航しており、米議会などで対日圧力が盛り上がる懸念がある。対日輸出は四十億九千四百万ドルだったのに対し、日本からの輸入は八十四億八千二百万ドルに達した。(1994/7/20)
- ・同本部は、開銀の電力や鉄道、通信など基幹産業への融資は打ち切らせる方針だが、一方で新銀行に地域振興整備公団と環境事業団の融資業務を移管し、地域開発や生活環境整備に加え、ベンチャービジネスや新技術開発も融資対象とすることにしている。このため、新銀行の業務が肥大化し、開銀の廃止が単なる「看板のかけかえ」にすぎなくなる懸念がある。(1997/7/12)

4.3 テンス・みとめかた

次に、形式自体のテンスとみとめかたについてみる。「恐れがある」と同様に、「危険がある」「懸念がある」にも過去や否定の形があり、テンス対立やみとめかたの対立がなりたっている。それぞれの用例を1例ずつあげておく。

- ・イラクのリンカージ(連関)論によって、中東の悪玉として湾岸危機の陰の主役の役割を押しつけられたイスラエルは、戦争が勃発すれば、いやおうなく巻き込まれる危険があった。このため、高度の軍事警戒態勢をとり、市民に防ガスマスクを配布する一方で、湾岸危機はパレスチナ問題とは関係がないとして、紛争に巻き込まれることを極力避けてきた。(1990/12/8)
- ・ゲノム編集技術を使い、生まれてくる子の遺伝情報を変えることが禁じられる。人為的に容姿や能力を変える懸念があった。(2019/12/5)
- ・電話のベルが八回鳴っても受話器を取らないと、自動的に留守番電話が働く仕組み。これなら、外出の際に「留守」にするのを忘れても、家に電話をかけてセットできる。また、外出の途中で予定が変わったような場合も、電話をかけて新しい応答メッセージを吹き込める。付属の暗号音発生器が必要なので、いたずらでメッセージを変更される危険はない。四万九千円。(1984/10/12)
- ・「県案では、開示してはならない情報を出さざるをえなくなり、犯罪者に有利な情報を与えたり捜査協力が得にくくなるなど結果的に県民の安全を脅かすおそれがある」と中川県警本部長。これに対して浅野知事は「県案でも重要な捜査情報が表に出る懸念はない。県警案では不都合な情報が隠されてしまうおそれがある」と主張する。(2000/9/19)

4.4 動詞の形態

ここからは、動詞の形態(テンス・アスペクト、みとめかた)についてみていく。一面(1面総合)を対象とする調査では、「危険がある」とくみあわさる動詞のテンス・アスペクト形式は、肯定形式では、35例のすべてが完成相非過去形(スル)であり(「したりする」3例と「してしまう」1例を含む)、過去や継続相の形はない。否定形式では、2例ともが完成相非過去形(シナイ)である。同じく、「懸念がある」については、肯定形式では、36例のすべてが完成相非過去形(スル)であり(「したりする」1例と「してしまう」1例を含む)、やはり過去や継続相の形はない。また、否定形式の2例ともが完成相非過去形(シナイ)である。このように、「危険がある」も「懸念がある」も、完成相非過去形の動詞とくみあわさった用例ばかりであった。肯定形式と否定形式から1例ずつあげておく。

- ・野放図な日銀引き受けは、通貨の増発から過剰流動性につながり、インフレを引き起こす危険がある。それが、長期国債の日銀引き受けを禁止する理由でもある。(1997/1/6)
- ・クレジットカードの場合、盗難などによる不正使用の被害額は一九九八年だけで二百八億円にのぼる。最近は組織的なすり集団による多額の被害も発生しており、用途が広がるキャッシュカードでも、盗難や紛失による被害が従来に比べ増える懸念がある。(2000/1/6)
- ・今回の汚職事件につながった、そうした「甘え」がなくならない限り、日本版ビッグバンも中身が伴わない危険がある。(1998/1/27)
- ・91年度予算では、前年度比6.5%増の6兆7720億円の税収を見込んでいるが、土地高・株高が沈静化し、この数年続いていた「自然増収」が期待できないうえ、年度後半以降、景気の減速から法人税の落ち込みも予想され、計画通り税収が確保できない懸念がある。(1991/4/11)

次に、本当に過去形や継続相の例がないかを確認するために、面名を指定せずに検索してみる。また、検索時にキーワードの文字列から句点を外して文末以外にあらわれた例も調べてみることにする。次表はその結果である(注7)。

	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
シタ危険がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0
シテイル危険がある	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
シタ懸念がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シテイル懸念がある	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
シタ危険がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シテイル危険がある	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
シタ懸念がある	0	0	0	0	0	(1)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
シテイル懸念がある	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1	1	1	5

「危険がある」「懸念がある」とともに、継続相非過去形の例がそれなりにあることがわかる(それぞれ、8例と17例)。1例ずつあげる。

- ・しかし、一方で、日本の慣行を閉鎖的と呼びたいような「排除的」な姑息(こそく)な手段が、実際に使われることがあるのも、指摘の通りだ。その姑息さが国の一部にあるために、全体が閉鎖的という印象を与えている危険がある。姑息さの国家的コストを考えることを要求するのは、姑息な人々に対してはそもそも無理な話か。(1993/6/20)
- ・これらの自治体は国保会計が赤字で、多くは全国でも最悪状態にある。やむなくやったとの気持ちからか、そろって不正をしたという認識が薄い。操作はかなり以前から引き継がれていたとみられるほか、手口が共通していることなどから、他の自治体にも広がっている懸念がある。不正が構造化していないか、全般的な点検が必要だ。(1990/9/18)

完成相過去形の例も、「危険がある」に6例、「懸念がある」に4例あるが、注釈が必要である。完成相過去形とくみあわさった「危険がある」は、6例のすべてが「エイズウイルス(H I V)に汚染された危険がある非加熱の血液製剤が・・・」という同じ例であった。この例は連体形であり、終止形になおすなら、「汚染されている危険がある。」となるだろう。これはいわゆる状態をあらわすシタ形であり、対象外としてもよい例であると思われる。一方、「懸念がある」のほうは、以下のように、すべて終止形である。

- ・京阪産業の発生川正司専務(60)は11日夜、朝日新聞の取材に対して「(タイヤが外れた)トラックは過積載だった懸念がある。たぶんそう(過積載)でしょう。過積載でないと採算がとれない。定期点検の結果などは会社として把握していない。運転手任せにしてしまった」と話した。(2008/4/12)
- ・会見に至る経緯、事故調査の問題点、あるべきプラント挙動評価、説明義務は東電にあること……。1号機の格納容器底に水が落ちてきていた可能性にも触れた。考えられるのは小配管の破損であり、破損した部分から原子炉压力容器の水が噴出した懸念がある、と。(2013/9/14)
- ・分科会では、病院が設けた事故調査委員会の学外委員5人のうち3人は9回の会合のうち初回しか呼ばれず、1人は全く参加していなかったことが報告された。分科会の専門家からは「学外委員の意見が十分に反映されなかった懸念がある」との意見が出た。(2015/3/28)
- ・川崎重工業は28日、顧客情報を管理するサーバーが不正なアクセスを受け、情報が外部に流出した懸念があると発表した。情報が実際に漏れたかどうかは特定できておらず、専門機関と調査を進める。川重は潜水艦などの防衛機器も手がけている。(2020/12/29)

以上のように、動詞のテンス・アスペクトについては、「危険がある」も「懸念がある」も完成相非過去形が基本的であるが、継続相非過去形は、「恐れがある」と同様に、それなりにみられる(ただし、「懸念がある」のほうが多い)のに対して、完成相過去形については、今回の調査範囲では「懸念がある」にしかみられなかった。過去形と「懸念がある」のくみあわせがみられるようになるのは、ごく最近のことである(もっとも早いのが名詞+コンピュータの2008年で、動詞は2013年から)という点にも注目しておきたい。

なお、動詞のみとめかたについては、いずれの形式についても肯定と否定の対立があり、起こることに危険を感じたり懸念を覚えたりするのか、起こらないことに危険を感じたり懸念を覚えたりするのかということがあらしめられる。「恐れがある」の場合と同じである。否定形式の例はすでにあげたので、ここでは省く。

4.5 時間的限定性

いまみたように、動詞のテンス・アスペクトについて、「危険がある」と「懸念がある」には少し違いがみられたが、時間的限定性に関する両者の違いはより重要な意味をもつ。一言でいえば、「危険がある」は、「恐れがある」よりもポテンシャルな可能の例のしめる割合がかなり高く、「懸念がある」は、逆に、ほぼすべてがアクチュアルな可能の例であるという、きわだった違いが観察されるのである。

まず、アクチュアルな可能をあらわす「危険がある」の用例をあげる。

- ・「国連平和協法案」が衆院で廃案になったのは、平和憲法の本質からいって当然の帰結と思うが、事は「コレニテ一件落着」というようなものではない。「軍事力行使に至らぬ限度での大々的な国際貢献」をしないことには、日本は完全に孤立する危険がある。(1990/11/21)
- ・寿命が尽きた人工衛星やロケットの残骸、破片からできた「宇宙ごみ(スペースデブリ)」による被害を防ぐため、日本など67カ国が加盟する国連の宇宙空間平和利用委員会で、ごみの削減策や安全管理法を定めた国際指針を作ることになった。地球の周囲では、数百万個の宇宙ごみが猛スピードで回っており、人工衛星に衝突したり、地上に落下したりする危険がある。各国は2月にウィーンで会合を開き、指針案の合意を目指す。(2005/1/23)
- ・このところ、オバマ政権からは「景気下げ止まりの兆し」をにおわす発言が相次いでいるが、住宅差し押さえが再び増加している。金融危機は依然、続いている。金融機関の不良資産の確定作業の結果次第では、新たな連鎖的金融破綻を引き起こす危険がある。そうなれば、企業倒産など実体経済への悪影響が避けられない。失業率は今後も上昇する見込みである。(2009/4/19)
- ・欧州連合(EU)も統一通貨ユーロも、国家対立を超えて恒久平和を築こうとする人びとの意志の結晶だ。しかし、ギリシャ離脱などでユーロ圏が分裂すれば、グローバル経済の暴走に対する歯止めを失うと同時に、通貨安競争や国家対立が再燃し、歴史の逆流を招く危険がある。(2011/9/25)
- ・外部から見える状態のカメラには、設置されている場所が推定できる複数の断片的な情報に加え、店舗や施設に出入りする一般市民の姿が映し出されるものもあった。湯浅教授は「プライバシー侵害や住民の不在を狙った空き巣を誘発する危険がある。パスワードの設定など外部から見られない対策がきちんと講じられているか、すぐに確認してほしい」と呼びかけている。(2015/3/16)

これらの例は、現にいまある危険についてのべている。危険を回避するために行動を起こさなければよくないことが起こる可能性がある」と警告している。他方、次にあげるポテンシャルな可能の例では、コンクリート、C型肝炎ウイルス、細胞、リチウム電池、携帯スマホ、鳥、山、人間の特性に起因して悪いことが起こる危険が一般的にあるということのべている(注8)。「恐れがある」の場合は、ポテンシャルな可能の用例はアクチュアルな可能の

例よりはるかに少なかったが、「危険がある」では、むしろこうしたポテンシャルな可能の例のほうがはるかに多い(2倍ほど) (注9)。

- ・コンクリートは、骨材と呼ばれる砂利や砂に含まれる鉱物がセメント中のアルカリ成分と反応し、亀甲状のひび割れを起こすことがある。ひび割れを放置すると、コンクリート中に水が入って鉄筋が傷み、最悪の場合、崩落などを起こす危険がある。各地の道路や橋で80年代から問題になり、同省が99年度に全国2600の橋や護岸などを調べたところ、25カ所でこの反応によるとみられるひび割れが見つかった。(2001/5/11)
- ・C型肝炎ウイルス感染者は国内で100万～200万人とされる。放っておくと肝硬変や肝臓がんに進む危険がある。肝がんで死亡する人は年約3万4千人と、がん死亡の中で肺がん、胃がんに次いで多いのもウイルス感染のせいだ。厚生労働省は検査をその対策の柱の一つとする。(2005/10/17)
- ・京都大の山中伸弥教授らが最初にiPS開発に成功した方法は、ウイルスを使って4遺伝子を細胞に入れる。しかし、遺伝子を入れると細胞が持つ本来の遺伝子を壊したり、入れた遺伝子が異常に働いたりして、がん化する危険がある。遺伝子を入れずにiPS細胞を作ることができれば、がん化の恐れは低くなるが、方法は開発されていなかった。(2009/4/24)
- ・使っているリチウム電池は、数百度に達すると破裂するため、火葬中に破裂すると、職員がのぞき窓を開けて遺体の位置を調節するときに破片が当たる危険がある。実際、職員がけがをする事故が起きている。(2012/5/14)
- ・路上や駅のホームで、携帯やスマホをいじっている人の姿が目立ちませんか？ 便利だからと画面を見つめ続けていると、思わぬ事故につながる危険がある。鉄道会社や携帯電話会社は「ながら使用はやめて」と呼びかけ始めた。(2013/6/4)
- ・農林水産省の家きん疾病小委員会の委員長で鳥取大の伊藤寿啓教授(公衆衛生学)は「鳥の感染は封じ込めに失敗すると爆発的に広がる危険がある。感染を今回の養鶏場だけにとどめることが重要」と指摘する。(2014/4/15)
- ・夏山のシーズンがやってきた。低い山でも侮れば、ベテランでさえ遭難する危険がある。どんな備えが必要か。専門家に聞いた。(2018/7/17)
- ・人間の無責任さを示す言葉に「我が亡き後に洪水よ来たれ」がある。年が長じるほど、問題が複雑になるほど、そんな発想が忍び込む危険がある。あなたはできることをさぼっていないか。「金曜日」の若者たちから問われている気がする。(2019/9/23)

「懸念がある」にも、ポテンシャルな可能の例はないわけではない。1面総合の調査では、次の2例が見つかった。

- ・体内出血のさい、昇圧剤が使用されたにもかかわらず最大血圧が50を割った状態がかなり続いたと見られるが、一般にこのような場合、ショックで低下した意識や腎機能の回復は、血圧が上がっても難しいとされ、尿の出が悪くなって尿毒症を引き起こす懸念がある。(1988/12/6)
- ・生産性が低い分野から高い分野への人、モノ、金の移動を伴う構造改革では企業倒産が増え、失業率が上がる懸念がある。このため、厚生労働省は「構造改革を断行する際には国民生活の足元をしっかりと固めておく必要がある」と、社会保障、雇用対策が果たす役割がますます重要と指摘。構造改革を進める上で、同省の存在意義をアピールした。(2001/6/1)

だが、これらは例外とみなせるとされる。「懸念がある」は、以下にあげるようなアクチュアルな可能の例がほとんどをしめるのである。

- ・ 91年度予算では、前年度比6.5%増の61兆7720億円の税収を見込んでいるが、土地高・株高が沈静化し、この数年続いていた「自然増収」が期待できないうえ、年度後半以降、景気の減速から法人税の落ち込みも予想され、計画通り税収が確保できない懸念がある。(1991/4/11)
- ・ 同本部は、開銀の電力や鉄道、通信など基幹産業への融資は打ち切らせる方針だが、一方で新銀行に地域振興整備公団と環境事業団の融資業務を移管し、地域開発や生活環境整備に加え、ベンチャービジネスや新技術開発も融資対象とすることにしている。このため、新銀行の業務が肥大化し、開銀の廃止が単なる「看板のかけかえ」にすぎなくなる懸念がある。(1997/7/12)
- ・ 預金や金融債など金融機関向けのあらゆる債権が全額保護される「ペイオフの凍結」が二〇〇一年三月末で解除されるため、ペイオフだけを単独で実施すれば、個人預金者や、決済口座をもつ企業などに動揺が広がる懸念がある。(1999/7/6)
- ・ クレジットカードの場合、盗難などによる不正使用の被害額は一九九八年だけで二百八億円ののぼる。最近では組織的なすり集団による多額の被害も発生しており、用途が広がるキャッシュカードでも、盗難や紛失による被害が従来に比べ増える懸念がある。(2000/1/6)
- ・ 世界の原油需要の約3割を供給する石油輸出国機構(OPEC)が、大幅減産の構えを見せている。原油価格が最高値から半値ほどに急落したためだ。減産で価格が再び上昇すれば、世界的な景気の悪化に拍車がかかる懸念がある。(2008/10/20)
- ・ 米国債が史上初めて格下げされたことで、週明けの金融市場では信用不安が広がる懸念がある。G7は緊急声明で、市場安定化に一致して取り組むことを盛り込む見通しだ。G7の協調姿勢を強く打ち出すことで、金融市場の動揺を抑える狙いがある。(2011/8/8)
- ・ 産活法の認定が来年3月で切れ、政府の後ろ盾がなくなると4月以降、出資金の返済を求められることになる。メガバンクなどの融資を続けてもらえない可能性もあり、このままでは返済に行き詰まる懸念がある。(2011/12/29)
- ・ ギリシャで大統領を選ぶ国会議員による3回目の投票があったが、与党候補者が当選ラインに達しなかった。規定に従って国会は解散され来年、総選挙が行われる。現政権の崩壊は再び金融市場を揺さぶる懸念がある。(2014/12/30)
- ・ トラUMP米大統領が鉄鋼やアルミの輸入品への新たな関税を正式に決めた。日本を例外扱いにするかどうかは今後の協議次第という。世界が「貿易戦争」に陥る懸念がある。(2018/3/10)
- ・ 10月1日に対応レジや端末が間に合わなければ、消費者が支払い時に余計に待たされたり、キャッシュレス決済によるポイント還元が受けられなくなったりする懸念がある。(2019/9/1)
- ・ ただ、7月末時点で検査可能件数が、推計された最大必要件数以上だったのは15県。今春の流行時には、検査能力の限界のためにPCR検査を受けられない例が頻発したが、感染者が急増すると今後も同様の事態が起こる懸念がある。(2020/8/8)

5. おわりに

「恐れがある」「危険がある」「懸念がある」は、よくないことが起こる可能性があるという基本的な意味を共有している。「可能性がある」というより一般的な可能性の表現ではな

く、これらを使用するのは、そうした否定的な評価的な意味を明示するためである。

この三つの可能性の表現は、将来よくないことが起こる可能性があるというアクチュアルな可能をあらわす用法を共有しながら、現在起こっている可能性や過去に起こった可能性をもあらわすようになる兆しがみえる。それはまず継続相非過去形の動詞とくみあわさることからはじまり、続いて、完成相過去形の動詞ともくみあわさるようになるというプロセスで進行しているようである。この変化をいちはやくひき起こしたのが「恐れがある」であり、「懸念がある」がそれに続いている。「危険がある」については、完成相過去形の動詞とのくみあわせの確例はまだない。

この三者は、時間的限定性の点で大きな違いがある。「危険がある」はポテンシャルな可能に傾き、「恐れがある」「懸念がある」はアクチュアルな可能に傾く。これはおそらく、「危険」がものやことの特性的なものととらえられるのに対して、「恐れ」「懸念」はことに対する人間の心理状態であるからであろう。ただし、「恐れがある」にはポテンシャルな可能の例もある程度みられる。これは、「恐れ」の意味が抽象化し、評価性を残しつつ「可能性」に近づいているからであろう。つまり、「恐れがある」「危険がある」「懸念がある」の三つの可能性表現のなかでは、「恐れがある」がもっとも一般的な表現であると考えられる。「危険がある」「懸念がある」を「恐れがある」に置き換えてもさしつかえがないことが多いのは、そのためである。

注

- 1 アスペクトやテンスが客観的なカテゴリーでないことは、工藤(1995)でも強調されているところである。
- 2 ただし、「しかねる」が可能性の意味になるのは否定形式のみであるから、形式的な区別があるともいえる。
- 3 両者の相違に関する議論については、森山(2002)や益岡(2007)も参照。
- 4 ただし、「したということもありうる」「しているということもありうる」「していたということもありうる」のような形はありうる。
- 5 「恐れはない。」というキーワードで検索。動詞とくみあわさっていない2例を除く。
- 6 ここでは、テンス・アスペクトとみとめかたについてみるのが目的なので、ヴォイス面は捨象している。つまり、「する」と「される」を区別せず、「する」としてカウントしている。
- 7 表中のかっこをつけた「シタ懸念がある」の1例は、動詞ではなく名詞+コピュラの例である。
- 8 「路上や駅のホームで・・・」「農林水産業の・・・」の例は、現にいまある危険についてのべているようにみえるかもしれないが、あくまでもそれを一般的にのべているので、ポテンシャルな可能である。一方、上の「外部から見える状態のカメラには・・・」の例は、特定のカメラについて危険があるとのべている。
- 9 「危険性がある」は「危険がある」よりアクチュアルな可能の割合が少し高いようであるが、用例が少なく、はっきりしたことはいえない。

参考文献

- 奥田靖雄(1986)「現実・可能・必然(上)」『ことばの科学1』むぎ書房
- 奥田靖雄(1990)「説明(その1) —のだ・のである・のです—」『ことばの科学4』むぎ書房
- 奥田靖雄(1996)「現実・可能・必然(中)」『ことばの科学7』むぎ書房
- 工藤 浩(2016)『副詞と文』ひつじ書房
- 工藤真由美(1995)『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現—』ひつじ書房
- 渋谷勝己(1993)「日本語可能表現の諸相と発展」『大阪大学文学部紀要』33-1
- 高橋太郎・屋久茂子(1984)「「～が ある」の用法—(あわせて)「人がある」と「人がいる」の違い—」『国立国語研究所報告79 研究報告集5』
- 仁田義雄(1981)「可能性・蓋然性を表す擬似モード」『国語と国文学』58-5
- 仁田義雄(1991)『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房
- 益岡隆志(2007)『日本語モダリティ探究』くろしお出版
- 宮崎和人(2014)「ポテンシャルな可能・アクチュアルな可能と認識的な可能性」『岡山大学文学部紀要』62
- 宮崎和人(2016)「論理的な可能性について」『岡山大学文学部紀要』65
- 宮崎和人(2018)「分析的な表現手段の存在意義—可能性の形式をめぐって—」『形式語研究の現在』和泉書院
- 宮崎和人(2019)「可能性としての〈疑い〉」『岡山大学文学部紀要』72
- 宮崎和人(2020)「可能表現の研究をめぐって」『国語と国文学』97-10
- 村上三寿(2020)「可能表現の文」『ことばの科学13』むぎ書房
- 森山卓郎(2002)「可能性とその周辺—「かねない」「あり得る」「可能性がある」等の迂言的表現と「かもしれない」—」『日本語学』21-2

付記

本稿は、2020-2023年度科学研究費補助金基盤研究(C)「構文論的アプローチによる日本語のモダリティの研究」による成果の一部である。